

庁舎整備特別委員会

第12回特別委員会を開催しました。今回の審議内容は、次のとおりです。

市からは、冒頭庁舎整備基本計画では、新

庁舎の位置は、現庁舎をできる限り利用し建設できる位置とし、旧給食センター、車庫の跡地としていた。同時に環境に配慮した庁舎としてエネルギー消費量を限りなくゼロにするゼロエネルギービルの実現方針としていた。

基本計画では南北軸としていた建物の配置は、プロポーザル方式により選定した設計業者から環境先進庁舎として西日の負荷軽減の大きい東西軸配置が提案され、ランニングコストや建築工事においても施工費が安価になることが判明しました。

市民ワークショップでの意見も東西配置に賛成の声があったため、

東西配置計画案としてと説明、その後、市民ワークショップなどの結果、新庁舎平面計画、今後の進め方について説明がありました。

委員からは、基本構想・基本計画策定を経て現在、基本設計業務を進めているが、今年4月の議会から市長への提言を受け、財政計画・西庁舎周辺整備計画も併せて進めるべき、実施計画は基本設計業務終了後に着手すべき、新庁舎の位置について南北から東西配置への変更の計画の時期は、基本設計案について議会の意見反映は、現在の基本設計事業費総額は、浸水対策として敷地の嵩上げは、といった質疑があり、当局からは、財政計画や西庁舎周辺計画も併せて議会とは丁寧な議論に努めていく、実施設計業務については、基本設計

計完了後、速やかに着手していきたい、新庁舎の配置は、前回委員会では確定していなかったため、今回での提案とした、基本設計案に議会意見は取り入れていく、事業費総額は現在、算定中である、浸水対策として、地盤を嵩上げする計画で、基本設計案については議会の同意を経て、パブリックコメントで市民の意見を聞き、基本設計書を取りまとめたこととの答弁がありました。



【新庁舎基本設計案イメージパース】

予算常任委員会

■議案第57号

平成30年度湖南市一般会計補正予算(第5号)

債務負担行為として庁舎整備事業実施設計業務委託8600万円が補正予算として計上されており、基本設計が完成したのちに実施設計ということであるが、基本設計がどういう状況にあるのか市民や議会にも十分に説明が伝わっていないのではないかとこの質疑に対し、基本設計の完成は本年10月末になるが、市民の意見を聞くためにこれまでワークショップを3回開催したことの答弁でした。

反対討論

基本設計が市民にも議会にも説明のないまま実施設計の予算提出には反対することとした。

賛成討論

特に歳入面で、普通交付税が約4億円増額

となり、市債発行は臨時財政対策債として約1億8000万円、繰越金が約2億1600万円ありました。歳出面では、特に財政調整基金の取り崩しをやめて、基金が4億3000万円、その他をいれて合計約8億3000万円。歳入が約8億円とすると、健全な補正予算となります。

賛成多数で可決

■議案第58号

平成30年度湖南市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

療養給付費等負担金返還金4068万9千円や積立や予備費に充てていることは、医療費の減額が原因であると思われるが、今後の動向についてはこの質疑に対し、診療報酬改定や被保険者数の減少により医療費が少なくなった。今後の見通しについても被保険者の

減少の方向性は否めなため、新薬の影響がない限り医療費の伸びはないと考えるとの答弁でした。討論はありませんでした。

全員賛成で可決

■議案第59号

平成30年度湖南市国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)

労働衛生センター診療事業、石部医療センター診療事業での機械器具備品のうち内視鏡システムの購入金額が違うのはなぜかとの質疑に対し、内容は同じだが、個数の違いであるとのこと。また、医療機器の初期購入にかかる整備計画、償還計画はどうかとの質疑に対して、医療機器は通常5年返済であるが10年は使うスパンで考えており、十分採算が取れているとの答弁でした。討論はありませんでした。